

テナガエビ増殖用リサイクル魚礁設置・開発等事業

1 事業の概要

児島湖の水質は、緩やかに改善してきましたが、近年は横ばい傾向にあり、茶色く濁った「見た目」も悪く、実際の水質以上に「汚い」とのイメージが先行しています。このため、平成30年度から「見た目」の改善に繋がる施策に取り組んでおり、その一つとして、湖水の主な着色原因である植物プランクトンやユスリカの幼虫(アカムシ)などを捕食するテナガエビの増殖手法や水質改善効果等について調査研究を実施し、一定の成果を得たところです。

本事業では、これまでの成果を踏まえた上で、資源循環の視点を取り入れた廃棄物等を活用したリサイクル魚礁の開発に取り組んでいます。湖内に設置したテナガエビの増殖効果を確認することで、児島湖の「見た目」の改善、水生生物による持続的な水質浄化の仕組みづくりを目指しています。

2 令和5年度実績

令和4年7月に設置した廃棄予定の瓦を活用したリサイクル魚礁について、テナガエビの定着状況を確認する継続調査を実施しました。

その結果、令和4年度の調査結果と同様にリサイクル魚礁もテナガエビの生息環境を創出することが確認されました。

今後、これまでの調査結果を評価するとともに、実用性を考慮した魚礁の改良を検討していきます。

＜リサイクル魚礁(廃瓦)＞



＜リサイクル魚礁内のテナガエビ＞



＜リサイクル魚礁の増殖効果＞

